

地球温暖化対策計画書

1 指定地球温暖化対策事業者の概要

(1) 指定地球温暖化対策事業者及び特定テナント等事業者の氏名

指定地球温暖化対策事業者 又は特定テナント等事業者の別	氏名（法人にあつては名称）
指定地球温暖化対策事業者	医療法人沖縄徳洲会

(2) 指定地球温暖化対策事業所の概要

事業所の名称		医療法人沖縄徳洲会 武蔵野徳洲会病院、介護老人保健施設 武蔵野徳洲苑						
事業所の所在地		西東京市向台町三丁目5番48号及び西東京市向台町三丁目5番57号						
業種等	事業の種類	分類番号	P83	P_医療_福祉	医療業			
		産業分類名	医療業					
	事業所の種類	主たる用途	医療					
		用途別内訳	建物の延べ面積 (熱供給事業所にあつては熱供給先面積)	前年度末	40,653.71	m ²	基準年度	m ²
			事務所	前年度末		m ²	基準年度	m ²
			情報通信	前年度末		m ²	基準年度	m ²
			放送局	前年度末		m ²	基準年度	m ²
			商業	前年度末		m ²	基準年度	m ²
			宿泊	前年度末		m ²	基準年度	m ²
			教育	前年度末		m ²	基準年度	m ²
			医療	前年度末	40,653.71	m ²	基準年度	m ²
			文化	前年度末		m ²	基準年度	m ²
物流	前年度末			m ²	基準年度	m ²		
駐車場	前年度末			m ²	基準年度	m ²		
工場その他上記以外	前年度末		m ²	基準年度	m ²			
事業の概要		<p>武蔵野徳洲苑 2012年竣工、地上4階、入所150名（ショートステイ含）/通所30名の介護老人保健施設</p> <p>武蔵野徳洲会病院 2015年竣工、地下1階、地上6階、病床数210床（一般160床・療養50床）の病院 2019年10月病床数増床（210床→246床）</p>						
敷地面積		16,538.92 m ²						

(3) 担当部署

計画の 担当部署	名 称	医療法人沖縄徳洲会 武蔵野徳洲会病院 施設管理課
	電 話 番 号 等	042-465-0792
公表の 担当部署	名 称	医療法人沖縄徳洲会 武蔵野徳洲会病院 施設管理課
	電 話 番 号 等	042-465-0792

(4) 地球温暖化対策計画書の公表方法

公表方法	ホームページで公表	アドレス： http://www.musatoku.com/
	窓 口 で 閲 覧	閲覧場所：
		所在地：
		閲覧可能時間
	冊 子	冊子名：
入手方法：		
そ の 他	アドレス：	

(5) 指定年度等

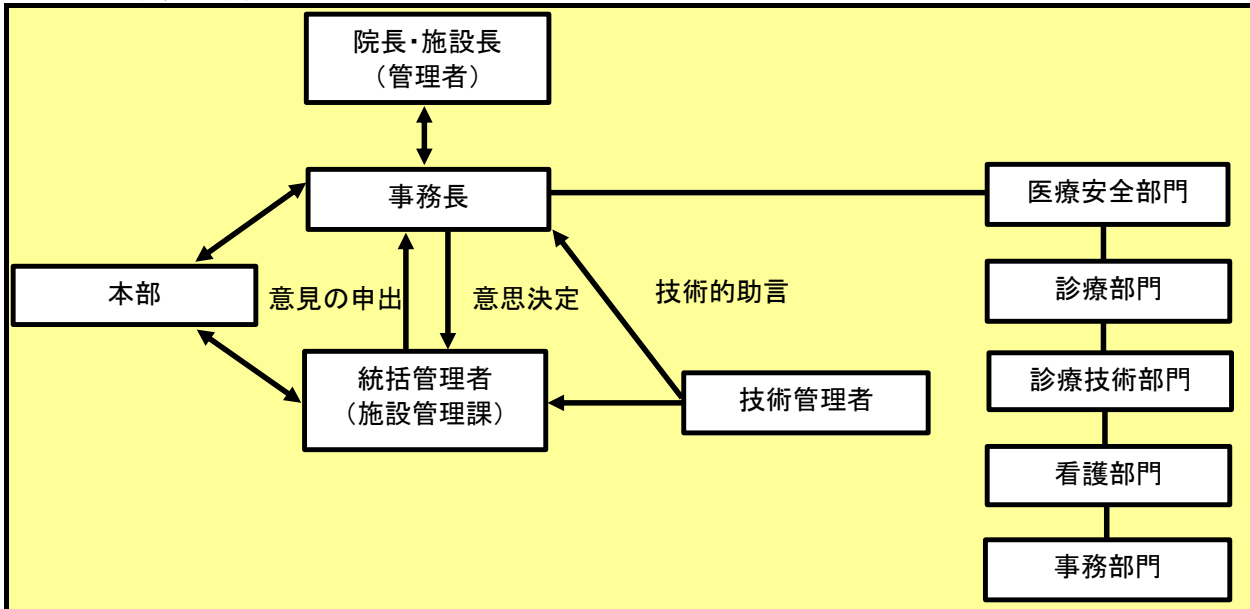
指定地球温暖化対策事業所	2018	年度	事業所の使用開始年月日	2012	年	3	月	21	日
特定地球温暖化対策事業所		年度							

2 地球温暖化の対策の推進に関する基本方針

当事業所は、本部、事務局、施設管理が連携し、省エネルギー削減に取り組む。
また、職員に省エネルギー推進意識を高めるよう努めていく。

再エネの導入・利用に関する取組みについて：当事業所では太陽光発電および風力発電といった再生可能エネルギーの導入・利用を積極的に推進していく。

3 地球温暖化の対策の推進体制



4 温室効果ガス排出量の削減目標（自動車に係るものを除く。）

(1) 現在の削減計画期間の削減目標

計画期間	2020 年度から 2024 年度まで		
削減目標	特定温室効果ガス	当事業所では照明設備についてLED化をほぼ完了している。搬送動力のエネルギー削減を図る為、第2計画期間より一部のファンに省エネVベルトを採用、今後はすべてのファンに採用し、稼働時間の見直しを行う。また熱源の温度設定を負荷に合わせて都度確認し、最適運用に取り組む。	
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	当事業所から排出される特定温室効果ガス以外のガス（その他ガス）は、2020年6月より井水を使用しているため、下水道への排出に伴う二酸化炭素の排出が主体になっている。したがって、節水を行うことで、その他ガスを削減する。現在、節水器具を使用しており、節水対策は実施済みである。今後の節水を検討し削減することを目標とする。	
削減義務の概要	基準排出量	t（二酸化炭素換算）/年	削減義務率の区分
	排出上限量（削減義務期間合計）	t（二酸化炭素換算）	平均削減義務率

(2) 次の削減計画期間以降の削減目標

計画期間	2025 年度から 2029 年度まで	
削減目標	特定温室効果ガス	引き続きエネルギー削減に取り組む。且つ、施設内の用途、運用状況に対応した機器の稼働時間、機器システムの見直しを検討し、エネルギー削減に取り組む。
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	引き続き節水を行うことで、その他ガスを削減した状態を維持する。

5 温室効果ガス排出量（自動車に係るものを除く。）

(1) 温室効果ガス排出量の推移

単位：t（二酸化炭素換算）

		2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
特定温室効果ガス (エネルギー起源CO ₂)		2,855				
その他ガス	非エネルギー起源二酸化炭素 (CO ₂)					
	メタン (CH ₄)					
	一酸化二窒素 (N ₂ O)					
	ハイドロフルオロカーボン (HFC)					
	パーフルオロカーボン (PFC)					
	六ふっ化いおう (SF ₆)					
	三ふっ化窒素 (NF ₃)					
上水・下水		24				
合計		2,879				

(2) 建物の延べ面積当たりの特定温室効果ガス年度排出量の状況

単位：kg（二酸化炭素換算）/㎡・年

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
延べ面積当たり特定温室効果ガス年度排出量	70.2				

6 総量削減義務に係る状況（特定地球温暖化対策事業所に該当する場合のみ記載）

(1) 基準排出量の算定方法

<input checked="" type="radio"/> 過去の実績排出量の平均値	基準年度：（ <input type="text"/> ）
<input type="radio"/> 排出標準原単位を用いる方法	<input type="text"/>
<input type="radio"/> その他	算定方法：（ <input type="text"/> ）

(2) 基準排出量の変更

	前削減計画期間	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
変更年度	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

(3) 削減義務率の区分

削減義務率の区分	<input type="text"/>
----------	----------------------

(4) 削減義務期間

年度から	年度まで
------	------

(5) 優良特定地球温暖化対策事業所の認定

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
特に優れた事業所への認定	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
極めて優れた事業所への認定	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

(6) 年度ごとの状況

単位：t（二酸化炭素換算）

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	削減義務期間合計
決定及び予定の量	基準排出量 (A)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	削減義務率 (B)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	排出上限量 (C = $\Sigma A - D$)	<input type="text"/>					<input type="text"/>
	削減義務量 (D = $\Sigma (A \times B)$)	<input type="text"/>					<input type="text"/>
実績	特定温室効果ガス排出量 (E)	2,855	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	2,855
	排出削減量 (F = A - E)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

(7) 前年度と比較したときの特定温室効果ガスの排出量に係る増減要因の分析

増減要因	<input type="checkbox"/> 削減対策	<input type="checkbox"/> 床面積の増減	<input type="checkbox"/> 用途変更
	<input type="checkbox"/> 設備の増減	<input type="checkbox"/> その他	<input type="text"/>
具体的な増減要因	<input type="text"/>		

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策 No	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分 番号	区分名称			
	【特定温室効果ガス排出量の削減の計画及び実施の状況】				
1	150200	15_照明設備の運用管理	LED化	2016～2018	診察室・事務所・廊下など使用頻度の高いエリアを選択して効率よくLED化した。
2	130100	13_空気調和の管理	クールビズ等	2018	5月1日～10月31日までクールビズ期間とした。期間中は半袖・ノーネクタイ・ノージャケットとした。
3	130100	13_空気調和の管理	温度管理	2018	従来の設定温度に対して冷房+1℃、暖房-1℃とした。
4	410700	41_電気の動力・熱等への 変換の合理化に関する措置	ファンへ省エネVベルトの導入	2018～2020	外調機およびファンへの省エネVベルトの導入
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策 No	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分 番号	区分名称			
17					
18					
19					
20					
		（再生可能エネルギーの設備導入及び利用の状況）			
71	190100	19_再生可能エネルギーの 設備導入	太陽光エネルギー設備の導入	2019	自転車置き場の街路灯にソーラー外灯を導入
72					
73					
		【その他ガス排出量の削減の計画及び実施の状況（その他ガス削減量を特定温室効果ガスの削減義務に充当する場合のみ記載）】			
81					
82					
83					
		【排出量取引の計画及び実施の状況】			
91					
92					
93					

8 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（自動車に係るものを除く。）

当事業所では、竣工時に省エネ対策は以下の通り大部分が取り組み済みである。

- 1、 高効率空調機（EHP）を導入している。
- 2、 高効率冷却塔を導入している。
- 3、 高効率給水ポンプを導入している。
- 4、 高効率空調ポンプを導入している。
- 5、 高効率熱源機器を導入している。
- 6、 高効率ファンを導入している。
- 7、 高効率変圧器を導入している。
- 8、 エレベーターの省エネ制御を導入している。
- 9、 高効率冷凍・冷蔵庫を導入している。
- 10、 Hf照明の導入・人感センサーの導入等省エネ機器を採用している。
- 11、 蒸気配管等の管部分は保温している。
- 12、 高効率コージェネレーションを導入している。

2016年から2018年に照明をLEDに交換した為、大幅に温室効果ガスが削減された。

再エネの導入・利用に関する取組みについて：

自転車置き場の街路灯に晴天時に太陽エネルギーを太陽電池で電気エネルギーに変換して蓄電池に蓄積し、周囲が暗くなると太陽電池の出力で照明を点灯させるソーラー外灯を導入した。